

前回部会（第1回）において審議した2つの案件の方向性

1 「駅ナカ」の把握（今後の課題への対応）

「駅ナカ」の把握については、既に経済センサスー活動調査や商業統計調査において、それぞれの調査目的に基づいて、売り場面積等が把握されているところ。

本調査においても同様に把握するかについては、今後、国土交通省において、売り場面積以外の調査事項（例えば賃貸の状況など）の必要性も含め、政策目的との関連性を十分検討した上で把握すべきか否かについて判断する必要がある。

2 「土地及び建物の選択肢の分割や新設」

土地及び建物の利用現況の選択肢の分割や新設については、統計の継続性の問題にも影響することから、現時点において、今回の調査計画案で実施することはやむを得ないが、今回の統合により、土地と建物の結びつきが正確に把握できるようになることを踏まえ、将来的な課題として検討することが望ましい。

※ なお、上記1、2については、答申に「今後の課題」として盛り込む方向で検討すべきか。